



第1回中・高校生ワークショップ実施報告



令和7年7月13日（日）に実施した、第1回中・高校生ワークショップの内容について報告します。

中・高校生ワークショップは「中・高校生にとって使いやすい児童館について考えてみよう！」をテーマに、中・高校生の皆さんの意見を聴きたいと思って始めたものです。

■第1回 中・高校生ワークショップ開催概要

実施日時：令和7年7月13日（日）9時30分～12時30分

実施場所：児童青少年センター（ゆう杉並） 集会室

出席者：12名

内 容：

- ・自己紹介、アイスブレイク
- ・みんなにとって居場所ってなんだろう？
- ・『子どもの居場所づくり基本方針』について
- ・児童館やゆう杉並を知ろう！ など



★ 自己紹介、アイスブレイク

ワークショップは、中学生班1つ、高校生世代班2つで、グループワーク形式で行いました。



- ・自己紹介では、名前、学年、はまっているもの・ことを一人ずつ話しました。
- ・初対面のメンバーでしたが、自分の「推し」の話をしたり好きなことの話をして盛り上がりました。

- ・アイスブレイクは「ヘリウムリング」をしました。
- ・人差し指の第2関節にフラフープを乗せ、みんなで協力して、30秒以内にフラフープを床まで下ろすことができるか、というゲームです。各班、どうやったらうまくできるか、作戦会議をして挑戦しました。
- ・和気あいあいとした雰囲気になり、緊張もほぐれました！



★ みんなにとって『居場所』ってなんだろう？

- ・初めに、「私の居場所は○○だ」を考えました。居場所は、「○○する時間」など、具体的な場所でもよいよ、という説明も聞いて考えました。
- ・みんなに考えてもらった「○○」を班のみんなで共有したあと、なぜ「○○」は居場所と感じるのか、その理由や要素を考えました。
- ・班の中で居場所と感ずるものやその理由を共有したあと、出た意見を全体に共有しました。



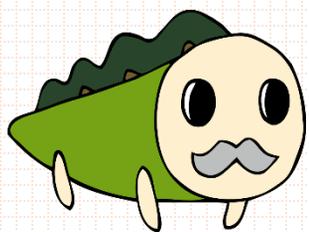
🍎 みんなから出た意見（抜粋）

■『私の居場所は○○だ』

家 学校 友達といる時間 自分の部屋
自分の家のベッド 祖父母の家 図書館
部活 公園 海 山 屋根裏部屋 児童館
ふらっと成田 ダンス教室 カラオケ
小学校のサッカークラブ 家のリビング
ゆう杉並 温泉 おいしいものを食べている時

■居場所と感ずる理由や要素

落ち着く ほっとする 安心できる
やりたいこと・好きなことができる 楽しい
癒される 嫌なことを忘れられる
のんびりできる 友達に会える
1人になれる うきうきする
自分の話を聞いてもらえる 何をしてもいい
お互いをよく知っている 自分の素を出せる
ゆっくりできる ストレス発散 疲れない



みんなが出してくれた「居場所と感ずる理由や要素」は、今後、中・高校生の使いやすい児童館を考える中でも、児童館がこんな風に感ずてもらえる居場所になるといいな、というヒントになるのぉ。

★ 『子どもの居場所づくり基本方針』について

なぜ、中・高校生ワークショップを開催することになったのか、なぜ中・高校生にとって使いやすい児童館を考えることになったのか、その背景を児童青少年課長から説明しました。



【説明内容の概要】

・区は、「すべての子どもが自分らしく生きていくことができるまち」の実現に向け、様々な取り組みを行っている。児童虐待や不登校件数の増加など、子どもが安心して過ごすことができる居場所のより一層の充実が求められていることなどを踏まえ、「子どもの居場所づくり基本方針」を策定した。
・基本方針を策定するにあたっては、アンケート、ヒアリング、ワークショップを行い、多くの子どもから意見聴取した。

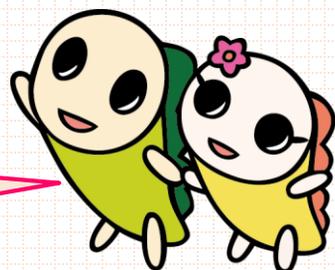
・子どもの意見から、地域の中に様々な要素を持つ居場所をできるだけ用意するほか、子どもが利用しやすい環境を可能な限り整え、子ども自身が居場所を選択できるようにしていくことが重要であることが分かり、これらをふまえ、理念・基本的な視点を定めた。

・児童館については、すべての子どもの居場所として、今ある25館をすべて残すほか、中学校区に児童館がない7地域については新たに児童館を整備することとした。

・児童館のうち7館（7地域に各1館）を、中・高校生向けの児童館とすることとした。中・高校生向けの児童館をどういった施設にするかは、今後、中・高校生の意見を聴きながら一緒に考えていく。

中・高校生の意見を聴きながら中・高校生向けの児童館をどういう施設にするか決める、と基本方針に書いてあるんだね！

ちょっと難しい内容だったけど、みんなとても真剣にお話を聞いてくれていたね♪



★ 児童館やゆう杉並を知ろう！

次に、児童館やゆう杉並がどんなところで、何ができる場所なのかの説明を聞きました。

児童館の説明は堀ノ内東児童館長が、ゆう杉並の説明はゆう杉並の館長がそれぞれ行いました。



【児童館の説明内容の概要】

- ・児童館は0歳から18歳までが利用できる子どもの居場所だが、実態としては小学生の利用が中心となっている。また、小学生の中でも、学童クラブの利用児童の割合が高い。
- ・他の自治体の児童館には、外国籍の子が使いやすい児童館や、要支援家庭の子どもを対象とした児童館など、特色を持たせた運営をしている児童館もある。

【ゆう杉並の説明内容の概要】

- ・ゆう杉並は、中・高校生が優先的に利用できる児童館。
- ・建設する時も、中・高校生が建設委員となり、会議を重ねて意見をまとめ、それを実現して施設が作られた。
- ・ゆう杉並の開設後は、中・高校生運営委員会が設置され、ゆう杉並の運営にも中・高校生の意見が取り入れられている。



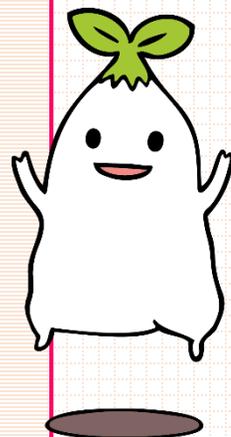
ゆう杉並の説明を聞いたあと、みんなでゆう杉並を見学したよ。
スタジオ、鑑賞コーナー、学習コーナー、ロビー、ゆうホール、ゆうカフェ、体育室など、それぞれのスペースで中・高校生がどんな風に過ごしているのかも合わせて見学したよ。

★ 今日の振り返り

最後に、今日の振り返りをしました。

■ ゆう杉並を見学した感想（抜粋）

- ・ゆう杉並でクライミングを試してみたい
- ・しっかりした自習室があって、集中して勉強ができそう。
- ・自習室だけではなく、4人とかで座れる席もあってよいと思った。
- ・いろんなことができ楽しそう。
- ・グランドピアノが弾きたい！
- ・部屋がたくさんある。
- ・色んなやってみみたいことが伸ばせそう！
- ・体育館で遊びたい！
- ・みんなたくさん友達と話しながら遊んでいて楽しそうと思った。
- ・色んな設備が充実してすごかった！
- ・夜遅くまで開いていてうれしい。
- ・細かいところにたくさん工夫がある。
- ・中・高校生の要望に沿ってつくられた設備が多い。
- ・利用者のやりたいことができているなと思った。



■ファーストインプレッション『どんな児童館だったら中・高校生も使いやすいと思った？』（抜粋）

みんなたくさんのアイデアを出してくれたよ！



ありがとう💕

- ・何をしてもいいし、何もしなくてもいい。
- ・子どもの意見を取り入れる。
- ・自分でイベントを気軽に企画・運営できる。
- ・個人で使える自習スペースがあったらうれしい。
- ・中・高校生にオープンな雰囲気。
- ・交通の便がよい。
- ・「児童館」という呼び名が中・高校生を遠ざけているのかも。
- ・お菓子やアイスを買える自販機がある。
- ・静かに休めるスペースがあってもいいかも。
- ・イベント（季節のイベント、ゲーム大会、スポーツまつり、縁日、夏祭りなど）がたくさんあるといい
- ・やりたいことがやれる
- ・みんなと交流できる機会がある
- ・スポーツができる
- ・小学生と中・高校生を分けてほしい（部屋や時間帯）
- ・予約して使える防音の部屋があればもっとよくなりそう
- ・ゲーム機があるといい
- ・緑が豊かなになるといい
- ・ドリンクバーみたいな飲み物を作れる
- ・アスレチックみたいなスペースがある

次回のご案内

第2回中・高校生ワークショップ：8月24日（日）9時30分～ @高井戸児童館

【実施内容（予定）】

- ・児童館ってどんなところだろう？ 実際に見てみよう！
 - 高井戸児童館の見学
 - 高井戸児童館ってこんなところ
- ・中・高校生にとって使いやすい『児童館』を考えてみよう！



暑い日が続いています。

熱中症に気をつけて、楽しい夏休みをすごしてね！

8月24日に、元気に皆さんとお会いできるのを楽しみにしています♪
同封しているワークシートは、記入してもってきてください！